



第3回

変わる、挑む 東北の食産業

参加者 募集

定員200名

入場無料

—— 被災地から生まれるビジネスモデル ——

東日本大震災からの復興の指針を探る東北復興セミナー第3回は、食産業にスポットをあて、生産、加工、流通を一体化させたビジネスモデルについてパネルディスカッションを通じて掘り下げます。

日時 **2014年11月19日(水)**
13:00~15:20 (開場/12:30)

会場 **東北大学片平キャンパス
「さくらホール」**
(仙台市青葉区片平2丁目1-1 東北大学片平キャンパス)

パネリスト

農業生産法人 株式会社舞台ファーム
代表取締役

針生 信夫 氏

仙台市出身。03年株式会社舞台ファーム設立。09年農林水産省マルシェ・ジャパン プロジェクト実行委員長(仙台放送+舞台ファーム)。内閣府食の6次産業化プロジェクトサーキャリア段位制度認定委員。13年舞台アグリノベーション株式会社設立。同代表取締役。

農業生産法人 株式会社GRA
代表取締役CEO

岩佐 大輝 氏

山元町出身。震災後に特定非営利活動法人GRAおよび農業生産法人GRA設立。先端施設園芸を軸とした「東北の再創造」がライフワーク。故郷のイチゴビジネスに構造変革を起こし、地域をブランド化。14年ジャパンベンチャーアワード(経済産業省主催)で「東日本大震災復興賞」受賞。

ヤフー株式会社
社会貢献本部長

須永 浩一 氏

03年ヤフー株式会社に入社。コンシューマ事業統括本部ビジネス開発部長などをつとめ、12年4月に新設の復興支援室室長に就任。宮城県石巻市に「ヤフー石巻復興ベース」を立ち上げる。Eコマースで復興を支援する「復興パートナー」の運営や、ツール・ド・東北のプロデュース等を担当。

株式会社日本総合研究所
創発戦略センタースベシヤリスト

三輪 泰史 氏

04年株式会社日本総合研究所入社。08年東京大学大学院農学生命科学研究科農学国際専攻博士課程単位取得。注力テーマは日本農業の技術を活かした海外での現地生産・現地販売モデル、農業のビジネス化を通じた地域再生の実現、農業生産者の想い・こだわりを届ける農産物ブランドの構築、環境調和型農業モデルの構築。

宮城大学食産業学部
フードビジネス学科准教授

森田 明氏

96年東京大学大学院農学生命科学研究科修士課程修了。日本農業研究所研究員を経て05年宮城大学食産業学部講師、10年宮城大学食産業学部准教授。専門分野は農業経済、農業・農村政策、食産業史。戦後の食料消費や食産業の歴史について、国家政策(農業政策・社会保障政策等)からの観点で研究。

コーディネーター

河北新報社編集局長 **鈴木 素雄**

応募方法

参加ご希望の方は、郵便番号、住所(聴講券送付先)、氏名、年齢、電話番号、参加希望人数を明記のうえ、はがき、ファックス、Eメールにてご応募ください。応募者多数の場合は抽選となります。聴講券の発送をもって当選通知とさせていただきます。

※ご記入いただきました個人情報は、本セミナー以外の目的では使用致しません。

応募先

河北新報社企画事業部
「東北復興セミナー」係

はがき ▶ 〒980-8660(住所不要)
ファックス ▶ 022-211-1221
Eメール ▶ j-oubo@po.kahoku.co.jp

※係名記入のごと

応募締切

11月10日
必着

【お問い合わせ】 河北新報社企画事業部 TEL.022-211-1332 (平日10:00~17:00)

主催  三井住友銀行、河北新報社、東北大学大学院経済学研究科地域イノベーション研究センター